

令和3年度（2021年度）「学校版環境ISOへの取組」好事例紹介

義務教育課

【小学校の取組】

管内	学校名	特徴的な取組（概要）
熊本市	熊本市立清水小学校	「清水小エコダイエット5キャンペーン」として5つの宣言項目を各教室に掲示して児童がいつでも確認できるようにし、日常的に取り組んでいる。全校児童を対象に5項目の「エコエコ目標」を立て達成状況を点数化し、取組への意欲を高めている。さらに、環境美化委員が中心となり、エコエコカードのコメント書きやペットボトルキャップ回収等、エコダイエットに主体的に取り組んでいる。
	熊本市立田原小学校	「環境ISO宣言2021」を環境委員会で立案し、児童集会で取組内容について説明することで、全校児童の環境ISOへの意識を高めている。また、環境委員会で節水・節電ポスターや節水・節電マークを作成・掲示し、節水や電気の消し忘れの防止を常に意識づけられるように工夫している。これにより、8・9月を除いた水道使用量は昨年度よりも8%減となっている。
山鹿市	山鹿市立菊鹿小学校	昨年度までの宣言を引き継ぎ、環境委員会が、掃除や節電・節水コンクール、アルミ缶集めや資源物回収などを継続的に行っている。中でもアルミ缶スタンプラリーの実施や環境マスコット作りなど、児童及び教職員が楽しみながら活動に取り組んでいる。2学期の振り返りでは、「もっと続けたい」という前向きな意見が児童から出され、3学期も取組を継続し、学校全体で意欲的に行っている。
宇城	宇土市立網津小学校	ペットボトルキャップの収集について、回収ボックス4杯分という具体的な目標が設定されていることで、目標をもって取り組むことができている。掃除については、学期毎にめあてを決め、振り返りを行い、お互いの頑張りを称賛し合う活動を取り入れている。取組に対して継続的な点検・記録がなされており、ペットボトルキャップの収集では地域との連携もできている。
玉名	玉名市立築山小学校	児童及び職員が共通の3つの柱を立て、数値目標と具体的な宣言項目を設定して取り組んでいる。児童の考えを基に、学校全体で計画的に実践されており、職員の取組では、作業の効率化を目指してペーパーレスの取組など一丸となって実践している。また、電気・水道の使用量をグラフ化して掲示して取り組んだ結果、前年度比で約20%使用料を減らすことができている。
菊池	大津町立大津南小学校	塘井手（ともいで）を全校児童で清掃する「クリーンみなみ」や、PTA活動の廃品回収「4Rしらかわ」といったPTAや地域と連携した取組を通し、環境教育だけでなく地域の歴史や自然についても児童が主体的に学ぶ姿が見られる。また、縦割り班での活動や、上級生と下級生で同じ場所を掃除するなどの取組により、学校全体としての相乗効果も見られ、設定した数値目標も達成している。
阿蘇	南小国町立中原小学校	児童も教員も具体的な目標を5つの宣言として掲げ、毎日の学校生活の中で粘り強く取り組んでいる。また、自然体験活動を通して、校区の環境について考える機会を設け、自然環境を大切にしようとする意識を高めている。毎日行っているボランティア活動やゴミの分別、残菜なし

		の取組などを継続的に実践し、学校版環境 I S O に取り組む態度が育成されている。
上益城	甲佐町立白旗小学校	環境美化委員会が、宣言項目の呼びかけを行い、「節電」「節水」「ゴミの減量化」等に取り組んでおり、委員会を中心とした活動が学校全体に浸透している。縦割り班の活動を工夫したり、取組の記録を毎月分析し、見直したりするなど、きめ細やかな取組が特徴的である。児童及び教師の P D C A サイクルをそれぞれ確立し、短期で見直し、改善を図ることで、学校全体の活発な取組につなげている。
八代	八代市立八代小学校	環境委員会を中心に「節電キャラクター」を募集して電気スイッチの近くに貼ったり、「幸せクリーンボックス」を設置して廊下等に落ちているゴミを入れたらシールを貼ることができたりと、児童の主体性を引き出す活動を行っている。また、環境 I S O チェック週間を設け、児童自身が自分たちの取組を評価するなど、計画的な取組を行い、児童の意欲にもつなげている。
	氷川町立宮原小学校	6年生の腐葉土の活用や4～5年生のごみ減量化標語の取組、給食委員会での残食チェックシートの取組など、学校全体でそれぞれのグループが役割を意識して活動している。学校総体では、「自然に親しむ子供を育てる」を目標に、「一人一鉢」活動を行い、花に親しみ育てる経験による情操面の向上を図ることや緑と花の社会的効果を利用した安全な学校づくりにも取り組んでいる。
芦北	水俣市立水俣第二小学校	分かりやすい行動目標を設定しており、児童が取り組みやすくなっている。全校集会で環境 I S O 宣言を行い全校での周知を図り、各教室や掲示コーナーで宣言項目を掲示し随時確認できるようにしている。また、振り返りカードや I S O 通信を活用し、P D C A サイクルに基づいた取組を行っている。
球磨	相良村立相良南小学校	環境美化、リサイクル、節電・節水等についての具体的な宣言項目に基づいて行動を展開している。節電・節水コンクールの実施及びプルタブ・ペットボトルキャップ回収等に熱心に取り組んでいる。また、全校児童による Volunteer Service 活動 (V S 活動) による運動場の草取りや落ち葉掃き、「一人一鉢運動」により、児童の環境美化への意識が高まってきている。
天草	天草市立亀川小学校	具体的な宣言項目や数値目標を掲げ、環境委員会が中心となり児童集会で周知するなど、主体的な児童会活動が行われている。また、環境委員会では、児童の宣言項目の意識化を図るために、S D G s マスコットやポスターの募集、「学級ごとの分別状況による表彰」や「みんなのゴミ箱」の設置等の取組により、環境に対する意識の高揚が図られている。
	苓北町立都呂々小学校	環境委員会が「とろっこ環境 I S O 宣言」から実践項目を考えて取組を行っている。また、学校版と家庭版の I S O プロジェクトカードを作成し、家庭でも取組を行うことで、児童や保護者の環境問題への意識を高めることに努めている。さらに、校区内の海岸清掃や地域住民と共に実践している花いっぱい運動など、地域と連携し、学校内外の環境保全・美化に取組を広げており、取組が充実している。

【中学校の取組】

管内	学校名	特徴的な取組（概要）
熊本市	熊本市立花陵中学校	生徒用と職員用の宣言項目を目立つところに掲示するなど、日常的に生徒と職員の環境ISOの意識を高める工夫を行っている。また、掃除用バケツを整備し、バケツ磨きを行うなど、宣言項目を達成するための具体的な取組を工夫している。さらに、生徒・職員ともにアンケートを実施し、達成度を数値で表すことで成果が見えるように工夫している。
	熊本市立西原中学校	環境活動のテーマを「未来に繋ぐ」「みんなで彩る」とし、テーマに沿った取組を行っている。校内の落ち葉を堆肥にし、それを使って花の苗づくりを行うことで堆肥づくりの循環型システムを構築し、緑化環境を整え、環境保全についての意識を高めている。また、グリーンカーテンを活用することで、室内の温度上昇を防ぎ電気の使用を抑える取組を行っている。
山鹿市	山鹿市立鹿北中学校	学校全体で環境に対する宣言の設定だけでなく、鹿北中版SDGsを作成し、生徒一人ひとりの行動目標を作成し取り組んでいる。また、生徒会を中心にZoom等を活用し、SDGsについての説明や意見交換など積極的で主体的な活動ができています。様々な活動を通して、環境への意識が高まると同時に、自然に囲まれた故郷を大切にしたいという意欲につながっている。
宇城	美里町立中央中学校	具体的な数値目標を設定し、それに応じた宣言目標を示すことで、生徒が主体的に取り組むやすい活動を計画している。ゴミの減量に努め、生徒自身で点検、記録を行い、継続的な取組を展開している。また、タブレット教材やアンケートの電子化などICT機器の活用を行うことで紙の消費削減につなげる取組も実施し、多角的に環境活動へ取り組む工夫が見られる。
玉名	南関町立南関中学校	具体的な宣言項目と数値目標を掲げており、生徒や職員が意欲的に取り組むことができています。ペットボトルキャップ・プルタブの回収やバケツの水を使って雑巾を洗うこと等においては、環境委員会を中心に生徒が主体的に活動している。また、校内研究のテーマとして、SDGsを取り入れ、学校全体で環境に対する意欲を高めようとしている。
菊池	合志市立西合志中学校	校内での取組では、定期的な環境チェックと美化コンクールの実施により、生徒の意欲向上と環境への意識の向上が図られている。また、校外での取組では、フラワーアレンジメント事業や西中校区クリーンアクション(NCA)などの地域に根差した活動を実施し、ボランティア活動の意識も高まっている。さらに意識を高めるための啓発活動として、動画でのCM作りやICTの活用を計画している。
阿蘇	小国町立小国中学校	生徒と教職員、市町村教育委員会、保護者及び地域が一体となり、環境問題に取り組む体制づくりがなされている。総合的な学習の時間(おぐに学)を柱にしてSDGsの学習に取り組み、そこで学んだことを活かして、環境のためにできることを考え実践を行っている。エコバッグ作成や廃油石けんづくりなど活動を地域へ広げることで環境に対する意欲の向上につながっている。

上益城	甲佐町立甲佐中学校	生徒会の環境美化委員会をISO推進委員会として位置付け、「節電」「節水」「ゴミの減量化」を柱に取り組んでいる。18年間の継続した取組により活動のサイクルが確立され、生徒が主体性を持って活動し、宣言項目について着実に成果を上げている。さらに、全校生徒に意識調査を実施し、取組の評価・改善に生かしており、結果からは、環境に対する生徒の意識の高まりとともに、家庭への広がりまで見て取れる。
八代	八代市立鏡中学校	生徒の取組を充実させるとともに、職員自らの取組にも重点を置いて活動している。宣言項目も多岐にわたるが、一つ一つの項目を着実に進め、成果につなげることができている。ボランティア委員会や給食委員会を中心に、生徒が主体的に活動している様子が見られ、ペットボトルキャップが多数集まったり、残食チェックの結果をポスターにしたりするなど、全校で意欲的に取り組んでいる。
	氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校	紙の消費量の減量化や節電・節水のための具体的な行動が示され、学校全体が一体となった取組が定着している。また、生徒主体による環境リサイクルマッチと題したペットボトルキャップ回収強化週間により、環境美化活動の促進と意識の向上に繋がっている。それぞれの行動の意義と目的を明確化し、環境保全の意識を高めるために効果的な計画策定と実践がなされている。
芦北	水俣市立水俣第一中学校	生徒版、職員版の環境ISO宣言項目を作成し、生徒版については生徒集会や掲示板の環境コーナー掲示等を通じて生徒全員が共通理解し共通実践ができるようにしている。取組に対してもPDCAサイクルに基づき見直しを行っている。また、地域へのリサイクル活動への参加を継続的に行い、生徒間でも役割分担をしながら参加率の向上に力を入れている。
球磨	多良木町立多良木中学校	昨年度の取組を基盤に新たに「SDGsの精神」を取り入れ、宣言・行動につなげている。環境委員会が主催する「美化クラスマッチ」や「黙働清掃」に力を入れ、主体的に活動しており、環境美化への意識が高まっている。学校版環境ISO委員会が中心となって点検・記録を行い、実施状況及び成果と反省を記録し校内放送等を通じて学校全体に広報している。
天草	天草市立稜南中学校	宣言書の掲示や環境委員会の取組により、十分な意識化が図られている。水道や電気の使用量等、過去との比較や各月の推移状況をグラフに可視化することで、生徒の意識を高めている。さらに、ゴミの分別を意識した取組や可燃ごみの計量・グラフの掲示によって、ゴミの削減等においても成果がみられる。また、本年度から職員会議等の資料を電子化し、紙資源の節約にも取り組んでいる。
	上天草市立松島中学校	宣言項目や目標値設定を生徒集会で話し合い、生徒会委員会を中心とした生徒主体の取組を進めている。環境委員会が中心となって他の委員会と協力し、さらに学級での役割決めることで、環境を意識した生徒一人一人の取組につながっている。また、校内の活動だけでなく、保護者や地域の協力を得ながらアルミ缶等の回収活動、松林整備ボランティアへの参加など地域の方とともに環境美化活動に取り組んでいる。